

レッツ チャレンジ!

学習習慣の定着を!

主に保護者の皆様を対象に、子供たちの学力を向上させる取組について、様々な情報提供を行ってきた広報誌「レッツ チャレンジ!」を1年ぶりに発行いたします。家庭との連携協力の一助になるよう、定期発行と紙面の充実に努めてまいります。なお、今年度は年4回発行する予定です。御愛読いただけますと幸いです。

変化の激しい社会にあって、子供たちの学力向上はこれまで以上に重要になってきます。今回は、御家庭において学習習慣の定着を図るために心掛けていただきたいことについて御紹介します。ぜひ「レッツ チャレンジ!」を御活用ください。

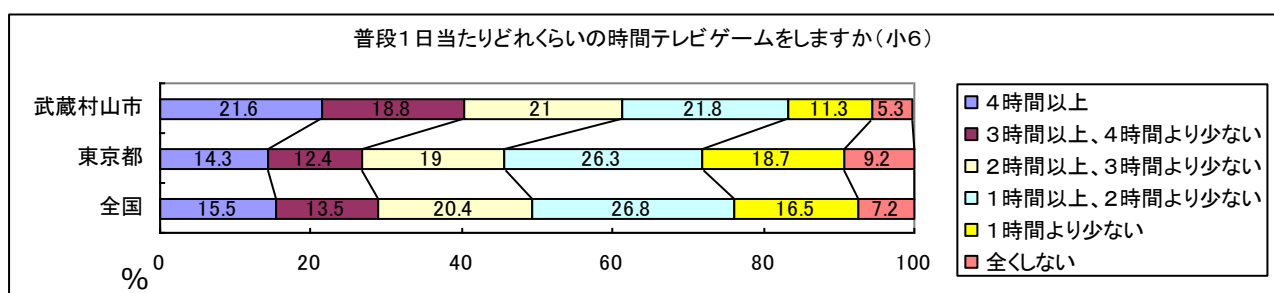
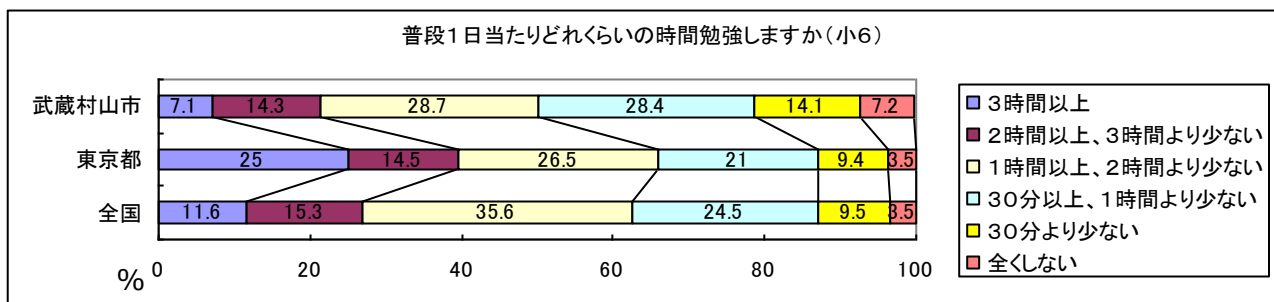
「学習習慣の定着に向け、自ら計画を立て、やり抜く姿を見守りましょう!」

家庭では、子供が自ら学習計画を立てて実行する中で学習意欲を向上させ、望ましい学習習慣を確立させていくことが大切です。子供が学習に取り組む姿を褒めるなどして、自信を持たせるとともに、最後までやり抜くことの大切さを伝えましょう。

まずは、**家庭での生活のルールづくりが学習習慣を定着させるための土台となります。**令和3年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)の調査結果では、武蔵村山市の子供たちは1日の中でテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームなど)をする時間が全国の子供たちに比べて長い傾向にあります。家庭でルールを作り、規則的な生活習慣を整えるようにしましょう。

武蔵村山市の子供たちの学習習慣 (令和3年度 全国学力・学習状況調査より)

★ **1日当たり1時間以上勉強している子供の割合が全国と比べて低く、1日当たりのテレビゲームをしている時間の割合全国と比べ高いことから、学習習慣の定着を図る必要があります。**

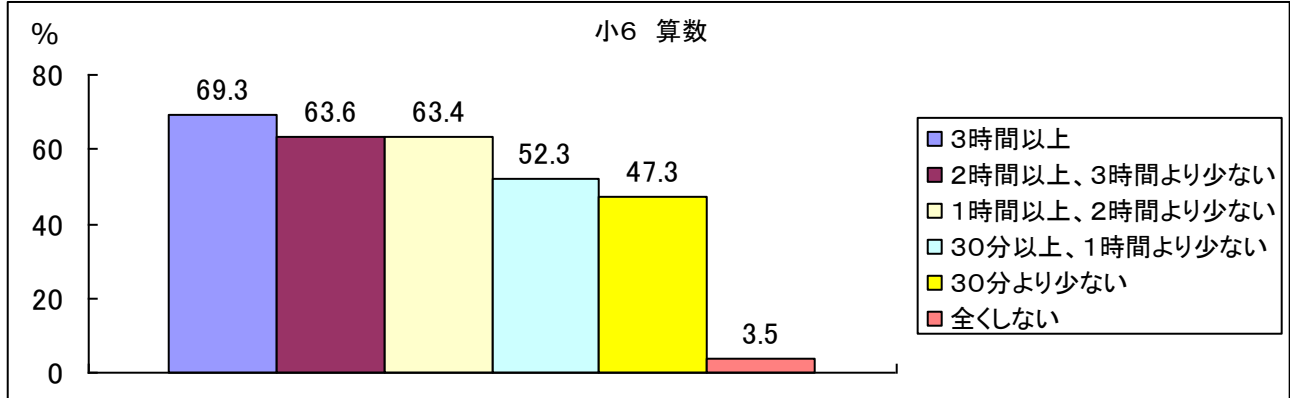


また、同調査では、学習習慣と平均正答率のクロス集計を行っており、小学校、中学校ともに家庭学習の時間が長い子供ほど、平均正答率が高い傾向にあるという結果となっています。

武蔵村山市の子供たちの学習習慣と平均正答率（小6・算数）の相関

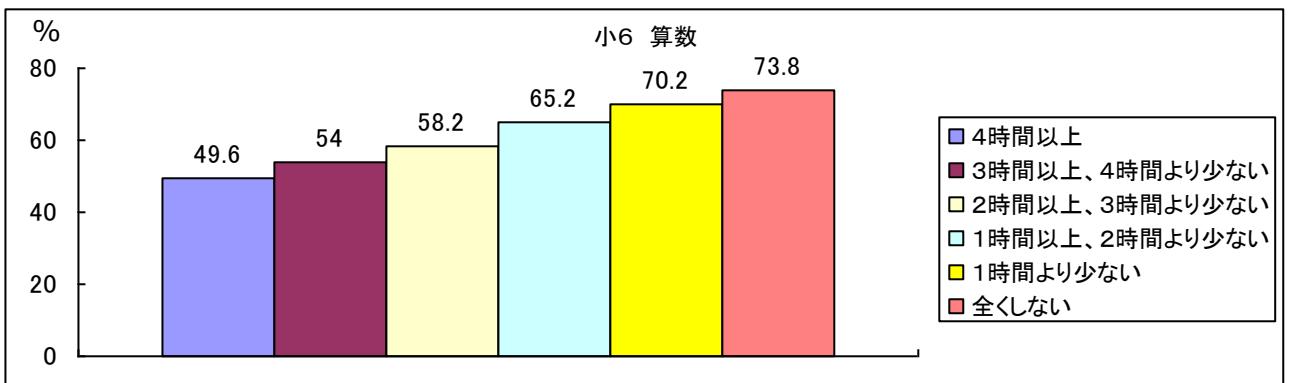
（令和3年度 全国学力・学習状況調査より）

★ 家庭学習の時間が長い子供ほど、平均正答率が高い傾向があります。



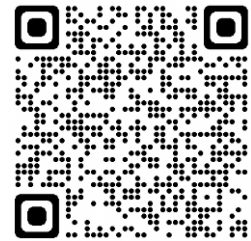
さらには、同調査のテレビゲームの時間と平均正答率のクロス集計では、小学校、中学校ともにテレビゲームで遊ぶ時間が短い子供ほど、平均正答率が高い傾向にあるという結果となっています。

★ テレビゲームの時間が短い子供ほど、平均正答率が高い傾向があります。



【保護者の皆様へお願い】

携帯電話やスマートフォンの過度の使用は、家庭での生活リズムの乱れにつながり、学習習慣及び学力の定着に影響を及ぼす可能性があります。御家庭においては、「SNS東京ノート」を参考に、子供と一緒に話し合い、使用時間を約束するなど適切な使用方法についてルールを決めることが必要です。ルールを部屋に提示するなどして、定期的に確認することをお願いします。



令和4年度版 SNS東京ノート（電子版）

家族とのふれあいを通して、家庭での学習習慣を身に付けさせましょう！

①褒める

頑張ってきたこと、挑戦しようとしたことを認めて、褒め、子供のやる気を育てましょう！

②見守る

子供が家庭学習の計画を立て、取り組む姿を見守り、応援して、子供の自主性を育てましょう！

③決める

スマートフォンやゲームをする時間の約束を家族と一緒に決め、一日の時間を大切に作る意識を育てましょう！

お問い合わせ先：武蔵村山市教育委員会教育指導課

☎042-565-1111（内線438）

⇒次回の「レッツ チャレンジ！」は令和4年9月頃に発行予定です。